

様式 1

令和 5 年度学長戦略経費（研究プロジェクト）実績報告書（研究実績）

1 研究課題名

特別支援教育コーディネーターの専門性向上に関する実践的検討

2 研究代表者

旭川校・教授・片桐正敏

3 研究分担者・研究協力者

旭川校・教授・萩原 拓 研究協力者
旭川校・准教授・蔦森 英史 研究協力者
函館校・教授・細谷 一博 研究分担者
函館校・教授・五十嵐 靖夫 研究協力者
函館校・教授・北村 博幸 研究協力者
釧路校・准教授・戸田 竜也 研究分担者
釧路校・教授・小野川 文子 研究協力者
釧路校・教授・小淵 隆司 研究協力者
釧路校・准教授・田中 雅子 研究協力者

4 令和 5 年度研究計画の達成度

(以下の項目□に1つチェック☑を入れてください。)

- a 計画とおり達成した
 b 概ね達成した
 c あまり達成できなかった
 d 全く達成できなかった

【c 又は d を選択した場合の理由や問題点】

5 学術的成果

【論文投稿】

- 前川 麻依子・片桐 正敏 (2023) 聴覚障害幼児との相互交渉の発達プロセス：意図理解を促す働き掛けと二者の関係発達. 発達心理学研究, 34(3), 131-144.
- 細谷一博・宮野希・三瓶夏希(2023) 協同学習を用いた交流活動の実施における典型発達児に及ぼす影響. 発達障害支援システム学研究, 22(2), 61-69.
- 五十嵐靖夫・鈴木佳恵・小松一保(2023) 北海道道南地域のへき地における特別支援教育推進のための校内支援体制の充実に向けて. へき地教育研究, 78, 9-24.
- 伊藤公美子・北村博幸(2024) 幼児期の非認知能力と実行機能の関連について. 北海道教育大学紀要(基礎研究編), 74(2), 27-41.
- 巻口恵理子・北村博幸(2024) ICT機器を用いた板書の入力スキル獲得の指導：書字に困難を示すLD児童を対象に. 北海道教育大学紀要(教育臨床研究編), 74(2), 17-28.
- 松下裕幸・北村博幸(2024) 実行機能のトレーニングに関する研究の現状と課題. 北海道教育大学紀要(教育臨床研究編), 74(2), 29-44.

【書籍出版】

なし

【学会発表】

- 第17回北海道特別支援教育学会、2023/9/16~9/17、函館、萩原拓・片桐正敏・蔦森英史、学校教育における包括的アセスメントの有用性と課題.
- 日本LD学会第32回大会、2023/10/8~10/9、広島、蔦森英史、1年生12月時点の直音・単音音読の予測精度に関する研究-就学前2月および就学後7月からの検討-
- 第64回日本児童青年精神医学会総会、2023/11/14~11/16、弘前、萩原拓・蔦森英史・片桐正敏、適応に困難のある子どもの実態把握-包括的アセスメントにおける分析の視点-
- 第3回日本公認心理師学会学術集会静岡大会、2023/12/20、オンライン、別府悦子・萩原拓・井潤知美・小野純平・稲田尚子・成田有里、適応行動と不適応行動のアセスメント
- 日本LD学会第32回大会(広島)、2023/10/8-9、広島、岩間 叶実・片桐正敏 オープン型教室に着目した学習環境の検討.
- 第61回日本特殊教育学会 2023/8/25-27 横浜 細谷一博・野口和人、教科交流(体育)における知的障害児と典型発達児の相互交渉.
- 日本LD学会第32回大会(広島)、2023/10/8-9、広島、田中雅子、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターの資質向上研修プログラムの検

討-サブ：ワークショップ型研修「特別支援学校のコーディネーターは、こうでないと！」の実践から。

- 3rd Edition of International Public Health Conference, March 21-23,2024 Village Hotel Changi,Shingapore, Aki Kawamura, Takashi Obuchi, Fumi Koine, Satoshi Yago, Takahide Omori. “Social and emotional characteristics of 1- to 2-year-olds differences by age in months and gender using J-ITSEA and comparison with U.S. data”

【その他】

- 特別支援教育コーディネーターに関する基礎的解説ー現状とこれから，実践みんなの特別支援教育 2024年2月号，田中雅子，Gakken，2024/01/16
- 特別支援教育コーディネーターのオシゴトの悩みを解決します！ー突然、特コに指名されたら？ 実践みんなの特別支援教育 2024年4月号，田中雅子 Gakken，2024/03/15
- 田中雅子、北海道教育庁釧路教育局主催 令和5年度地域人材による家庭教育推進事業「地域における家庭教育支援基盤構築事業」家庭教育支援研究協議会第2回研修会，2023/11/08，参集型研修，参加者数20名
- 田中雅子、釧路市教育委員会主催 「特別支援教育に係る初任段階教員の授業力向上事業」における第2回特別支援教育担当初任段階教員全体研修，2024/02/20，参集型研修，参加者数60名
- 小淵隆司、全国障害者問題研究会埼玉支部発達保障基礎講座，「わたしとあなた，そしてみんなー子供の発達と集団ー」，2023年6月3日，Zoomオンライン，57名
- 小淵隆司、白糠町教育研究部主催研修，「①心の弱さへのアプローチ，②へき地の児童生徒の卒業後の実情とじりつするために必要な力」，2023年11月7日，白糠町立白糠学園，対面参集，26名
- 小淵隆司、第48回全国学童保育指導員学校東北会場 講座1「学童保育の生活づくりで大切にしたい視点」，2023年7月2日，東北大学，対面参集，62名
- 小淵隆司、第48回全国学童保育指導員学校北海道会場 講座「障害のある子どもたちへの支援」，2023年7月9日，Zoomオンライン，48名
- 小淵隆司、NPO 法人学童保育 にしっ子 子育て講演会「仲間の中で育ち合う子どもたち」，2023年10月22日，新潟市NPO 法人学童保育にし

っ子，対面参集，36名

- 小渊隆司、鶴居村保健事業子育て講話「子どものこころとからだの発達」，2024年2月16日，鶴居村子どもセンター，対面参集7名
- 小渊隆司、北海道主催放課後児童支援員認定講習北見会場「子どもの発達理解」「児童期の生活と発達」，2023年10月15日，北見工業大学，対面参集54名
- 小渊隆司、北海道帯広養護学校PTA公開講座，「障害のある子の性教育」，2024年1月10日，北海道帯広養護学校，対面参集，52名

6 実践的成果

【教材】

(今年度公表分、予定含む。教材名、公表日、配布方法、配布先、配布数、外部評価等。) ※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

【評価方法】

(授業評価、学力の評価等。今年度公表分、予定含む。評価名、公表日、配布方法、配布先、配布数、外部からの反応等。) ※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

【指導（授業）案】

(今年度公表分、予定含む。名称、公表日、配布方法、配布先、配布数、外部評価等。) ※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

【教育方法】

(今年度公表分、予定含む。名称、公表日、配布方法、配布先、配布数、実践例等。) ※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

【その他】

- オンライン授業改善セミナー、2023/11/29 北海道教育庁空知教育局・留

萌教育局 (zoom によるオンライン実施)、20 名程度参加

- オンライン授業改善セミナー、2023/12/19 北海道教育庁石狩教育局・後志教育局 (zoom によるオンライン実施)、20 名程度参加
- オンライン授業改善セミナー、2024/1/25 北海道教育庁上川教育局・宗谷教育局 (zoom によるオンライン実施)、25 名程度参加
- 冬の包括アセスメント研修、2024/2/16~2/18、北海道教育大学旭川校、対面、参加者数 10 名、包括的アセスメント研修の理解度 4.4 (非常に難しい：1~十分理解できた：5 の 5 件法)。

◆上記の学術的・実践的成果のうち、ホームページ等で公開できる資料がありましたら、メール添付又は学内便で送付してください。

◆ホームページのポンチを更新するときは、新しいポンチ絵 (パワーポイント) をメールで送信してください。

◆プロジェクトで報告する学術的・実践的成果は幅広く捉えて記入してください。

7 その他、研究実施状況

- 第3回管理職のための特別支援教育に関する研修会「ユニバーサルデザインの視点からの授業づくり」北海道教育委員会 2023 年 11 月 22 日、オンライン開催、300 名程度参加
- 令和5年度北海道特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会道南地区懇談会「生徒の卒業後の社会参加について」北海道特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会 2023 年 9 月 1 日 オンライン開催 100 名程度参加

○今回の実績報告書 (内容) は本学のホームページで公開されます。(報告書の体裁は事務で修正することがあります。青字と赤字の斜字体は削除します。)

○ページ数は2ページ以上になっても構いません。枠は適宜拡大してください。